

口腔・顎顔面領域の疾患 - (口腔・顎顔面領域の疾患 -)

4 年次 前学期	授業科目責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学） ユニット責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	口腔顎顔面領域にみられる多種多様の疾患のなかで顎関節症を含む顎関節の疾患は発症頻度が高いものである。顎関節の疾患を診療するうえで、臨床所見と病態の把握は不可欠である。口腔外科臨床に直結する内容であり、そのためには、成因、病態、診断、治療を学び理解する必要がある。口腔顎顔面領域にみられるウイルス感染症、疼痛・麻痺等をともなう神経疾患、奇形・変形を診療するうえで、臨床所見の把握は不可欠であり、成因、病態、診断、治療を学び理解する必要がある。また、口腔顎顔面領域に多様の症状を認める血液疾患を診療するうえで、病態を学び理解する必要がある。さらに、口腔外科臨床で頻繁に行われる手術の術式を学び理解する必要がある。
授業担当者	口腔外科学：秋元芳明、石井達郎、田中茂男 顎顔面外科学：近藤壽郎 酒巻裕之、神野良一、小倉直美、阿久津美和、大木秀郎、篠原正徳、高橋 哲、横尾聡、鶴澤一弘 口腔免疫学：山本正文 頭頸部外科学：牧山康秀 顎口腔機能治療学：小見山道 歯科臨床検査医学：福本雅彦 顎顔面矯正学：大峰浩隆
教科書	サクシント口腔外科学（学建書院） 口腔外科学（学建書院） スタンダード口腔病理学（学建書院） 臨床神経内科学（南山堂） 脳神経外科学（金芳堂）
参考図書	最新口腔外科学（医歯薬出版） Simple Text 口腔外科の疾患と治療（永末書店） 口腔顎顔面疾患カラーアトラス（永末書店）、口腔病理アトラス（文光堂）
実習器材	特になし
評価方法 (EV)	中間試験、定期試験による評価
学生への メッセージ オフィスアワー	口腔外科領域の疾患のなかで炎症とアレルギー性疾患、唾液腺疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍類似疾患は国家試験に毎回出題されている重要な疾患であり、臨床実習に向けて基礎的知識を十分に学んでほしい。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月6日(水) 3時間 9:00 ~ 11:50	ウイルス感染症 ウイルスの基本構造 感染メカニズム 口腔外科領域のウイルス疾患	【準備学習項目】 ウイルスの基本構造と感染メカニズムを説明できる。 口腔外科関連のウイルス疾患を説明できる。 【講義】 ウイルスの基本構造およびウイルス感染症の発症メカニズムを説明できる。 単純疱疹の病態、診断、治療法を述べることができる。 帯状疱疹の病態、診断、治療法を述べることができる。 ラムゼーハント症候群の病態、診断、治療法を述べることができる。 流行性耳下腺炎の病態、診断、治療法を述べることができる。 ヘルパンギーナ、手足口病の病態、治療法を述べることができる。 風疹、麻疹の病態を述べることができる。 後天性免疫不全症候群の口腔の病態を述べることができる。 マルチメディア F-2-4)-(2)- F-2-4)-(5)- -()-A-1	秋元芳明 山本正文
4月6日(水) 2時間 13:00 ~ 14:50	顎顔面領域の中樞神経疾患	【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の解剖、生理について説明できる。 【講義】 顎顔面領域の神経支配を説明できる。 中樞神経疾患による顎顔面領域の症状・病態・診断について説明できる。 スライド・ハンドアウトによる講義。 各 - -()-2 F-2-4)-(6)	牧山康秀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月13日(水) 3時間 9:00～11:50	神経疾患	【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の神経機能について説明できる。 【講義】 顎顔面領域の神経疾患の原因、診断法および治療法を説明できる。 スライド、プリントを使用した講義。 各-()-2 F-2-4)-(6)	同上
4月13日(水) 2時間 13:00～14:50	神経疾患	【準備学習項目】 口腔周辺の症状を発現する精神疾患について説明できる。 【講義】 心因性疾患について理解する。 心因性疾患の病態を述べる。 心因性疾患の問診法を述べる。 心因性疾患の治療法を述べる。 マルチメディア F-4-5) -()-1-F	小見山道
4月20日(水) 3時間 9:00～11:50	中間試験	論述による試験。	秋元芳明 牧山康秀 山本正文 小見山道
4月20日(水) 2時間 13:00～14:50	血液疾患	【準備学習項目】 人体における血液成分を列挙できる。 人体における白血球の種類を列挙できる。 【講義】 各種白血球の役割りを述べることができる。 造血の概要を述べることができる。 血球の分化の過程を説明できる。 癌遺伝子・癌抑制遺伝子の役割りを説明できる。 癌遺伝子・癌抑制遺伝子を列挙できる。 マルチメディア D-1-3) D-2-3)-(11) 必-6-A-a,e,f	福本雅彦
4月27日(水) 3時間 9:00～11:50	症候群・系統的骨疾患	【準備学習項目】 症候群・系統的骨疾患について説明できる。 【講義】 全身疾患によって顎顔面口腔領域に多彩な症状を現し、原因として先天性疾患、感染症、自己免疫疾患とする症候群・系統的骨疾患の概略を説明することができる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(7)- 、 、 、 、 -()-4 -()-1-B	神野良一
4月27日(水) 2時間 13:00～14:50	症候群・系統的骨疾患	【準備学習項目】 症候群・系統的骨疾患について説明できる。 【講義】 全身疾患によって顎顔面口腔領域に多彩な症状を現し、原因として先天性疾患、感染症、自己免疫疾患とする症候群・系統的骨疾患の概略を説明することができる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(7)- 、 、 、 、 -()-4 -()-1-B	同上
5月11日(水) 3時間 9:00～11:50	顎関節の疾患1	【準備学習項目】 顎関節の解剖・生理について説明できる。 【講義】 顎関節内障の病態生理を説明できる。 変形性関節症の病態生理を説明できる。 顎関節内障および変形性関節症の臨床症状を説明できる。 その他の顎関節疾患を理解する。 マルチメディアを使用した講義。 F-2-4)-(4) -()	近藤壽郎 小倉直美
5月11日(水) 2時間 13:00～14:50	顎関節の疾患2	【準備学習項目】 顎関節疾患の治療について説明できる。 【講義】 顎関節疾患の外科的治療を説明できる。 マルチメディアを使用した講義。 F-2-4)-(4) -()	同上
5月18日(水) 3時間 9:00～11:50	中間試験	論述による試験。 解説あり。	福本雅彦 神野良一 近藤壽郎 小倉直美

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月18日(水) 2時間 13:00～14:50	全身疾患の口腔粘膜症状	【準備学習項目】 全身疾患の口腔粘膜症状について説明できる。 【講義】 全身疾患の口腔粘膜症状を理解する。 多彩な臨床症状を示す全身疾患の口腔粘膜症状を概説できる。 マルチメディア F-2-4)-(2) -()	大木秀郎
5月25日(水) 3時間 9:00～11:50	奇形・変形 歯の異常 軟組織の異常	【準備学習項目】 歯の異常、軟組織の異常を理解する。 【講義】 顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べることができる。 歯の異常の種類を述べることができる。 歯の異常による障害と続発症、治療法を述べることができる。 口唇の異常(裂奇形以外)の分類、障害、治療法を述べることができる。 舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べることができる。 マルチメディア F-2-3)- ()-1,2,3	田中茂男
5月25日(水) 2時間 13:00～14:50	奇形・変形 歯の異常 軟組織の異常	【準備学習項目】 歯の異常、軟組織の異常を理解する。 【講義】 顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べることができる。 歯の異常の種類を述べることができる。 歯の異常による障害と続発症、治療法を述べることができる。 口唇の異常(裂奇形以外)の分類、障害、治療法を述べることができる。 舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べることができる。 マルチメディア F-2-3)- ()-1,2,3	同上
6月1日(水) 3時間 9:00～11:50	顔面・口腔の裂奇形	【準備学習項目】 顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。 【講義】 顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する診断について説明できるようになる。 裂奇形について説明できる。 唇裂の分類について説明できる。 唇裂による障害について説明できる。 口蓋裂の分類について説明できる。 口蓋裂による障害について説明できる。 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 マルチメディアを使用した講義 F-2-3) -()-1,2	酒巻裕之 池谷美和
6月1日(水) 2時間 13:00～14:50	顔面・口腔の裂奇形	【準備学習項目】 顎奇形について説明できる 唇顎口蓋裂の分類について説明できる。 唇顎口蓋裂による障害について説明できる。 【講義】 顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する治療法について説明できるようになる。 口唇・口蓋裂の治療方針について概説することができる。 唇裂の手術法を説明できる。 口蓋裂に関する手術法を列記できる。 口蓋裂に関する手術法の目的について説明できる。 口唇・口蓋裂児および家族に対する指導内容について説明できる。 マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -()-1,2 -()-5	大峰浩隆

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月8日(水) 3時間 9:00～11:50	顎骨の異常	<p>【準備学習項目】 顎骨の変形を呈する疾患について説明できる。</p> <p>【講義】 顎骨の変形を呈する疾患について診断し管理ができるようになるために、口腔領域の顎骨異常に対する診断法とその治療方針について説明できる。 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 顎変形症の治療方針について説明できる。 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。 マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -()-2 -()-5</p>	酒巻裕之 池谷美和
6月8日(水) 2時間 13:00～14:50	顎骨の異常	<p>【準備学習項目】 顎骨の変形を呈する疾患の治療法について説明できる。</p> <p>【講義】 顎骨の変形を呈する疾患について診断し管理ができるようになるために、口腔領域の顎骨異常に対する診断法とその治療方針について説明できる。 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 顎変形症の治療方針について説明できる。 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。 マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -()-2 -()-5</p>	高橋哲
6月15日(水) 3時間 9:00～11:50	中間試験	<p>論述による試験。 解説あり。</p>	
6月15日(水) 2時間 13:00～14:50	口腔癌の遺伝子治療	<p>【準備学習項目】 口腔癌の遺伝子診断および遺伝子治療法について説明できる。</p> <p>【講義】 口腔癌の遺伝子診断および遺伝子導入療法等に関する最先端医療について概説する。 F-2-4)-(3)- -()-7-A</p>	鶴澤一弘
6月22日(水) 3時間 9:00～11:50	手術の患者管理、 手術の基本手技	<p>【準備学習項目】 顎口腔外科手術での患者管理および基本手技について説明できる。</p> <p>【講義】 手術での患者管理および基本手技について理解する。 顎口腔外科手術で用いられる手術手技を理解する。 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点および患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期および術前・術後管理について説明できる。 外科処置の基本である消毒法・滅菌法を理解し、列挙することができる。 切開法、止血法および縫合法の基礎を理解し、その方法を述べるすることができる。 マルチメディアを使用した講義。 F-1-1)- 、 、 F-1-3)-(1)- 、 、 、 、 、 、 、 -()-7</p>	小宮正道

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月22日(水) 2時間 13:00～14:50	手術の患者管理、 手術の基本手技	【準備学習項目】 顎口腔外科手術での患者管理および基本手技について説明できる。 【講義】 手術での患者管理および基本手技について理解する。 顎口腔外科手術で用いられる手術手技を理解する。 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点および患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期および術前・術後管理について説明できる。 外科処置の基本である消毒法・滅菌法を理解し、列挙することができる。 切開法、止血法および縫合法の基礎を理解し、その方法を述べるができる。 マルチメディアを使用した講義。 F-1-4) -()-7	同上
6月29日(水) 3時間 9:00～11:50	顎口腔外科手術各論 歯根尖切除術	【準備学習項目】 顎口腔外科領域の歯根尖切除術について説明できる。 【講義】 歯根尖切除術の目的を理解し、本手術の適応症、禁忌症を具体的に述べるができる。さらに、根尖切除術の手術術式を理解し、粘膜切開法と粘膜切開法の原則について述べるができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-1-4)- 、 、 、 、 、 、 、 、 、 -()-7-A-4	石井達郎
6月29日(水) 2時間 13:00～14:50	顎口腔外科手術各論 補綴前処置の外科1 歯槽堤整形術 歯槽堤形成術	【準備学習項目】 顎口腔外科領域の補綴前処置の外科について説明できる。 【講義】 口腔外科における補綴前処置である歯槽堤整形術と歯槽堤形成術の概念を理解し、歯槽堤整形術と歯槽堤形成術の相違点および絶対的歯槽堤形成術と相対的歯槽堤形成術の相違点について説明できる。さらに、歯槽堤整形術および歯槽堤形成術の適応症、術式を具体的に述べることができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-1-4)- 、 、 、 、 、 、 、 、 、 -()-10-F	同上
7月6日(水) 3時間 9:00～11:50	顎骨再建 軟組織の再建	【準備学習項目】 顎骨再建法について説明できる。 軟組織の再建法について説明できる。 【講義】 骨移植について説明できる。 骨髄移植について説明できる。 骨軟骨移植について説明できる。 下顎骨の再建法について説明できる。 上顎骨の再建法について説明できる。 マルチメディアを使用した講義。 D-4-2) F-2-4-3)- -()-11-B -()-7-F 腫瘍手術後の軟組織欠損に対する再建法を述べ、これらの再建法の意義を説明できる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4-3)- F-4-2) -()-11-B -()-7-F	神野良一 横尾聡
7月6日(水) 2時間 13:00～14:50	軟組織の再建	【準備学習項目】 軟組織の再建法について説明できる。 【講義】 腫瘍手術後の軟組織欠損に対する再建法を述べ、これらの再建法の意義を説明できる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4-3)- F-4-2) -()-11-B -()-7-F	横尾聡

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月13日(水) 3時間 9:00～11:50	顎口腔外科手術各論 補綴前処置の外科2 小帯切除術 義歯性線維腫の切除手術 迷入歯の摘出手術	<p>【準備学習項目】 顎口腔外科領域の補綴前処置の外科、迷入歯の摘出手術について説明できる。</p> <p>【講義】 各小帯の異常により発症する障害を理解し、口腔外科における補綴前処置である小帯切除手術の適応症と術式を述べることができる。 義歯性線維腫の定義、原因を理解し、臨床的な病態像を述べることができる。 抜歯の偶発症のひとつである歯の迷入の原因を理解し、迷入歯摘出術術式を述べることができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-1-4)- 、 、 、 、 、 、 、 、 、 F-2-3)- 、 -()-10-H-a -()-9-B -()-7-A-5</p>	石井達郎
7月13日(水) 2時間 13:00～14:50	顎口腔外科手術各論 上顎洞根治手術 上顎洞口腔瘻閉鎖術	<p>【準備学習項目】 顎口腔外科領域の上顎洞根治手術、上顎洞口腔瘻閉鎖術について説明できる。</p> <p>【講義】 歯性上顎洞炎の病態像を理解し、上顎洞根治手術および上顎洞口腔瘻閉鎖術の適応基準、術式を述べるができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-2-4)-(2)- 、 、 、 、 、 、 、 -()-5 -()-4 -()-7-A-3</p>	同上
7月20日(水) 3時間 9:00～11:50	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	<p>【準備学習項目】 ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。</p> <p>【講義】 主な炎症(骨髄炎)を概説できる。 ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。 F-2-4)-(5) F-2-4)-(7)</p>	神野良一
7月20日(水) 2時間 13:00～14:50	口腔乾燥症(ドライマウス)と関連する疾患	<p>【準備学習項目】 口腔乾燥症(ドライマウス)について説明できる。</p> <p>【講義】 口腔乾燥症(ドライマウス)の原因について説明できる。 口腔乾燥症(ドライマウス)の症状について説明できる。 口腔乾燥症(ドライマウス)と関連する疾患を説明できる。 シェーグレン症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 F-2-4)-(2)</p>	篠原正徳